

広報

ただみ

6
2019 月号
No. 589
令和元年6月10日



今月の表紙

今年で5年目を迎えた、地元農家が主催する田植え体験イベント『KARIYASU'19「100人手植え」』には、今年も多くの方が参加し、楽しく農業体験を行いました。

参加者の皆さんは、泥だらけになりながら田んぼの周囲から投げ渡された苗をキャッチし、1株ずつ丁寧に手植えをしていました。

(関連記事：P11)

《特集》

奥会津ただみの森キャンプ場

リニューアルオープン… 2～5

町内各小学校の運動会特集…………… 6～7

《News&flash》…………… 8～9

《町の話》…………… 10～13



「青少年旅行村いこいの森」改め

「奥会津ただみの森キャンプ場」が

リニューアルオープン！

新たなアウトドア拠点を整備



▲雄大な自然に囲まれた同キャンプ場、奥に見えるのが浅草岳

整備箇所一覧 (表1)

改修【8箇所】

案内看板(入口、施設内)、
管理棟、
オートキャンプサイト、
東・西バンガロー、
古民家 旧山中家、旧目黒家

新設【5箇所】

モバイルハウス、イベント広場、
森林サイト、東・中央炊事棟

解体撤去【3箇所】

旧管理棟、旧シャワー棟、
旧東炊事棟

新たなアウトドア 拠点が誕生

春の大型連休初日となる4月27日、「青少年旅行村いこいの森」が「奥会津ただみの森キャンプ場」としてリニューアルオープンをしました。本リニューアルは、「自然首都・只見アウトドア拠点整備事業」として実施され、平成30年度から本格的な整備作業が行われてきました(表1参照)。近年の施設の老朽化や利用者ニーズの変化などが背景にある中、リニューアルを通じ、新たなアウトドア拠点として町民の皆さんの利用増加と交流人口の拡大を目指します。



▲新設されたイベント広場も利用者が多かった



▲連休中は町外の方を中心に多くの利用者が訪れた

リニューアルオープンまでの経緯

H27

国道289号（八十里越道路）の開通などを見据え、「青少年旅行村いこいの森」の活性化について検討を開始。

H28

三条市との連携会議がスタート。(株)スノーピーク（本社：三条市）との連携が生まれる。

H29

(株)スノーピークへの委託により、アウトドア拠点整備基本計画を策定。

H30

同計画に基づき、今回の整備（リニューアル）を実施。

H31

名称を「奥会津ただみの森キャンプ場」とし、4/27にリニューアルオープン！

(株)スノーピークとの連携により基本計画を策定

前述の「自然首都・只見アウトドア拠点整備事業」は、訪日外国人観光客が急増し出した平成27年度から動き始めました。当時、新潟空港から国内入りする外国人も少しずつ増え、新潟方面から新しい流れができた中、国道289号（八十里越道路）の全線開通を数年後に控える本町は、「自然首都」を宣言する町としてアウトドア拠点整備の検討に入ります。

翌年度には、国道289号で結ばれる予定の三条市との連携が本格化し、三条市に本社を持つアウトドア総合メーカー「(株)スノーピーク」との連携も生まれま

した。その後、町は、本格的に旅行村をアウトドア拠点の一つとして整備すべく「アウトドア拠点整備基本計画」の作成を(株)スノーピークに委託、平成29年度には本リニューアルのもととなる同計画が策定されました。計画が策定された後の平成30年度に本格的な整備作業が行われ、今回のリニューアルオープンを迎える運びとなりました。

自然首都・只見として今後のアウトドア観光の推進

同キャンプ場（集計時・青少年旅行村いこいの森）の入込客数は近年横ばいとなっていきます（グラフ参照）、本リニューアルにより、新たなアウトドア拠点の一つとして入込客数の増加が期待されます。今年の大規模連休が10連休だったということもあり、オープン直後の連休期間中は、例年の2倍の入込客数を記録しました。今後はPR戦略を強化し、より多くの方に新しくなった同キャンプ場を知ってもらい、年間を通して入込客数の増加を図ります。また、当初の背景にあった外国人観光客もターゲットに受入体制を整備していく予定です。

5月8日には、内堀雅雄福島県知事が同キャンプ場を視察に訪れ、県としてもPR活動を強化したい旨をお話しされました。

今後は、アウトドア拠点となる同キャンプ場を中心に、田子倉湖や只見湖など町全域の豊かな自然環境を活用する

ことや、施設の整備で終わらず、体験プログラムの拡充や外国人向けツアーの企画をすることなどにより、アウトドア観光を推進していく必要があります。「只見を世界中の人々が訪れるアウトドアフィールドにすること」を目標に、今後も活動が続けられていきます。

▶ 菅家町長らと古民家 旧目黒家を視察する内堀知事



どこが変わったの？

～新設・改修箇所のご紹介～

① 管理棟内装、Wi-Fi通信

利用客が最初に訪れる管理棟は、明るく開放感のある内装に改修されました。受付の向かい側には、(株)スノーピーク製品の展示スペースも併設されています。また、キャンプ場全域に Wi-Fi 通信環境が整備され、利用しやすい環境となっています。



▲管理棟は明るく開放感あふれる内装に

② モバイルハウス～^{じゅうぼこ}住箱～

(株)スノーピークが提供するトレーラーハウス「モバイルハウス～住箱～」2棟が新設されました。館内にはベッドやテーブルが設置されており、テントを持たずに宿泊することが可能。窓が大きく、より自然を近くに感じられるのも魅力です。

※利用開始は8月頃を予定



▲特徴的な外観の「モバイルハウス～住箱～」

③ イベント広場

テニスコートを撤去して芝生が一面に広がるイベント広場を新設。テニスコートの利用者が減少傾向にあった中、同広場は様々な用途に使用することができます。



▲芝生が広がるイベント広場を新設



▲以前のテニスコート

④ 東バンガロー

全5棟の東バンガローでは、老朽化が目立っていた内装の改修と屋根の葺き替えが行われました。室内には新たにロフトが設置され、1棟3～4人の宿泊が可能です。



▲内装が改修された。リーズナブルな価格で利用できる

5 古民家 旧目黒家

古民家 旧目黒家には新たに浴室が設置され、キッチンなどの改修や畳の張替えも行われるなど、より快適に利用できるようになりました。キャンプ場の古民家設備は珍しく、町としては外国人観光客にも積極的にPRをしていく予定です。（※もう1つの古民家 旧山中家も畳の張替えなどが行われました）



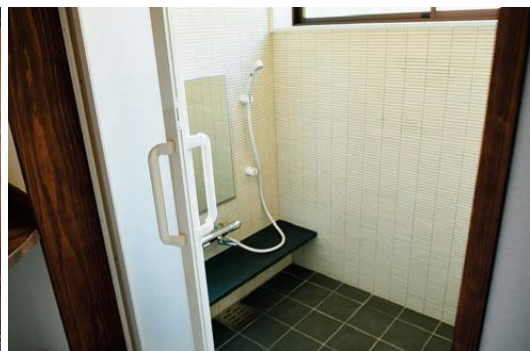
▲室内は広く、団体での利用に使われることが多い



▲改修されたキッチン



▲テーブルで食事也可



▲浴室が新設された



▲建物横にテント・タープの設置や駐車が可能



6 西バンガロー（テラス）

全5棟の西バンガローには、建物の横にテラスが新設され、テントやタープが利用しやすくなりました。車を置いておくこともでき、小人数での気軽なキャンプが楽しめます。（4～5人向け）



▲新しい東炊事棟



▲芝が張られたキャンプサイト

7 炊事棟、キャンプサイト

中央炊事棟と東炊事棟、2つの炊事棟が新設され、利用しやすくなりました（※旧東炊事棟は撤去、キャンプサイト炊事棟も一部改修）。また、芝の張付けやテントサイトの開設などキャンプサイトの整備を行いました。

8 各種看板

名称変更により、キャンプ場入り口に「奥会津ただみの森キャンプ場」の看板を設置。また、施設のマップを掲載した案内看板を場内3箇所に設置しました。



▲新設された入口の看板



▲場内には案内看板も



特集!

【写真紹介】 ※タイトルは種目名です

★朝日小学校 (5月18日)

- ①・② はい、チーズ!
- ③ あさひっこ 大玉ころがし
- ④ 帰ってきた! 超ビッグ! チョコドーナツ争奪戦
- ⑤ みんなで、パプリカ!

★明和小学校 (5月18日)

- ⑥ 紅白対抗全校綱引き
- ⑦ 韋駄天! 高学年! (180m走)
- ⑧ やっぱ福島が近くていいない♪
- ⑨ ゴールを目指せ! 50m走
- ⑩ 来年はよろしくね!

★只見小学校 (5月25日)

- ⑪ 只見小レスキュー隊 出動!!
- ⑫ いざ、しっぽりの陣
- ⑬ 貸してけやれ! 借り物&借り人レース in 只見
- ⑭ あわてずあわてず!
- ⑮ 親子でよっちょれ
- ⑯ 全校紅白リレー





14 15



16



13



12



7



11



9

10



8

運動会

今年も町内各小学校で運動会が盛大に開催され、紅組・白組に分かれた児童の皆さんが、暑さに負けず熱戦を繰り広げました。児童たちのあふれんばかりのパワーは、保護者の皆さんや先生たちのエネルギーになり、会場は一体感に包まれていました。

ほんの一部ですが、今年の運動会の様子をご紹介します。



消防春季検閲式を開催

4月28日、「平成31年度消防春季検閲式」が只見振興センター駐車場で開催され、町消防団員と婦人消防隊員約250人が参加しました。

式では、執行委員長である三瓶一也消防副団長より指揮者が任命された後、検閲官である菅家町長の検閲宣言によって検閲が開始され、通常点検や機械器具点検、小隊訓練が実施されました。また、各種表彰が行われ、団員の長年の功績が称えられました。団員の皆さんは日頃の訓練の成果を発揮し、規律ある動作を披露しました。



▲約250人の消防団員、婦人消防隊員が参加した



▲団員の通常点検を行う検閲官

●指揮者

- 総指揮者（副団長） 五十嵐敦彦
- 徒歩部隊（分団長） 鈴木 尚
- ポンプ隊（分団長） 佐藤 邦広
- 婦人消防隊（団員） 五十嵐菜奈

●各種表彰

- 【日本消防協会表彰】
- 勤続賞5名
- 【福島県消防協会表彰】
- 精勤賞2名



▲規律ある動作で行われた機械器具点検

- 【福島県消防協会南会津支部表彰】
- 功績賞4名
- 優良賞14名
- 勤続賞21名

【只見町消防団長表彰】

- 優良賞13名（酒井 智さん）
 - 精勤賞5名（酒井 俊夫さん）
 - 功績賞11名（佐藤 義樹さん）
- ※（ ）内は代表者



▲柏市職員が来町し、活発な議論が行われた

5月10日、只見振興センターで柏市職員との「ふるさと交流企画会議」が開催され、町関係者が出席しました。

今年、只見町と柏市がふるさと交流都市を締結してから25周年を迎える年にあたり（平成6年11月19日に締結）、只見町町制施行60周年記念事業の中で実施される柏市立柏高校吹奏楽部の演奏会をはじめ、多くの企画が予定されています。会議では、交流促進を目的とした新規事業の実施など、双方からの提案事項を中心に活発な議論が行われました。

柏市とのふるさと交流企画会議を開催

内堀福島県知事が来町
奥会津ただみの森キャンプ場を視察

5月8日、内堀雅雄福島県知事が来町し、4月27日にリニューアルオープンした「奥会津ただみの森キャンプ場」を視察されました。

改修が行われた管理棟や「古民家旧目黒家」、新設されたモバイルハウスなどを視察した知事は、「古民家を使ってキャンプができる施設は珍しく、急増する外国人観光客にも積極的にPRするべきだ」などと意見を述べられました。

視察後は、昼食会が開かれ、菅家町長など関係者と昼食を取りながら意見交換をされました。



▲菅家町長らと意見交換をする内堀知事

募集活動の支援などを実施
中野大徳さんが自衛官募集相談員に就任

5月16日、自衛隊福島地方協力本部による自衛官募集相談員委嘱式が役場で行われ中野大徳さん（叶津）が同相談員に就任されました。相談員は募集活動の支援を中心に、自衛隊の周知活動や勧誘、入隊予定者への援助などを広報官とともに実施していく予定です。当日は、自衛隊福島地方協力本部募集課の八尋課長など隊員の皆さんが来庁し、中野さんに委嘱状を交付しました。任期は、4月1日から2年間となります。



▲八尋同本部募集課長(中右)から中野さん(中左)に委嘱状が交付された

町政について広く意見交換
町政座談会を3地区で開催

5月20、23、24日に町政座談会が昨年に引き続き3地区（朝日、只見、明和の順）で開催され、計50人程の町民の方々が参加しました。（※昨年は町政懇談会の名称で開催）同会は、町長をはじめ町職員が、広く町政全般について町民から意見をいただくためのもので、当日は町から本年度予算の説明をした後、参加者との意見交換を行いました。

意見交換では、「道の駅構想と整備計画」「J・R只見線の利活用」「少



▲冒頭で本年度の予算が説明された（写真：只見地区）



▲各地区で活発な議論が行われた（写真：明和地区）

子化対策と教育施策」「空き家の活用及び解体」などを中心に様々な意見が挙げられ、活発な議論が行われました。

同会でいただいた意見については、担当課を中心にしっかりと検討し、より良い形で町政に反映できるよう活動してまいります。また、今後は集落からの要望に応じ、集落単位で座談会を開催することなどを視野に広聴機能の強化を進めます。

大型連休に合わせて町ブナセンターが自然観察会を開催

「春の花自然観察会」

4月28日、蒲生かたくり公園で「春の花観察会」が開催されました。観察会では、蒲生岳を眺めながら雪食地形やモザイク植生、クリ林に広がるカタクリ群落を観察し、春に咲く花の生活史と生育環境などについて、ブナセンター職員が解説を行いました。同公園は、蒲生集落の方々によって維持管理され、カタクリの生育に適した環境となっています。参加者は、只見を代表する春植物の生態や多雪により形成された蒲生岳の特徴的な植生などを学びました。



▲職員の解説を聞きながら春植物の観察を行った

「新緑のブナ林観察会」

4月29日、布沢・癒しの森で「新緑のブナ林観察会」が開催されました。ようやく芽吹き始めた木々が広がる中、センター職員がブナの特徴や開葉の仕方、雪が生育に与える影響などについて解説を行いました。また、地面に落ちた種子が発芽する「更新」や伐採後のブナ林が再生する様子などを観察しました。参加者は、観察会を通じてユネスコエコパーク域である只見町の自然への理解を深めました。



▲2日間の観察会で計26人が参加した

地域の景観・環境美化を推進

朝日地区で「ちょボラごみ拾い」を実施

4月27日、朝日地区で「ちょボラごみ拾い」(主催：朝日地区地域づくり委員会)が実施され、約40人の皆さんが参加しました。

当日は雨天の中での開催でしたが、参加者は4コースに分かれ、国道289号線沿いや県道に落ちていたごみを精力的に拾い歩き、集めたごみは48袋分となりました。

同イベントは、地域の景観・環境美化推進を目的に例年行われており、今秋にも開催が予定されています。



▲早朝からごみ拾い活動に参加した地域の皆さん

第72回福島県総合体育大会スポーツ少年団体育大会ソフトボール競技南会津大会 只見スポーツ少年団が優勝！

5月3日、福島県・福島県体育協会・福島県スポーツ少年団が主催する同大会が南会津町びわのかげソフトボール場で行われ、只見スポーツ少年団が優勝という素晴らしい成績を収めました。

同大会には郡内8チームのスポーツ少年団（小学生）が参加し、決勝に勝ち進んだ只見スポーツ少年団は、田島スポーツ少年団を7-0で退け、見事優勝を果たしました。

優勝した只見スポーツ少年団は、6月8日から須賀川市にて開催される県大会に出場する予定です。



▲優勝を果たし、県大会での活躍が期待される只見スポーツ少年団の皆さん

功績を称える

横田治さんに高齢者叙勲を伝達



▲金子南会津地方振興局長(右)から横田さん(中右)に勲記などが手渡された

5月10日、元只見町議会議員の横田治さんへの高齢者叙勲（旭日単光章）伝達式が、横田さんの自宅（大倉）で行われました。横田さんは、平成4年の初当選から町議会議員を通算3期12年務め、町政発展や地方自治の振興に多大なる貢献をされました。式では、金子隆司南会津地方振興局長から横田さんに勲記などが手渡された後、同席した菅家町長が「永年にわたる御功績が認められたものであり、ご家族のお支えもあつての受章」と述べ、その功績を称えました。

泥だらけになりながら手植え体験を満喫！

KARIYASU '19「100人手植え」開催

5月11日、地元農家が主催する田植え体験イベント KARIYASU '19「100人手植え」が季の郷湯ら里前の田んぼで開催され、町内外から多くの皆さんが参加しました。

参加者の皆さんは、スタッフと一緒に泥だらけになりながら、普段の生活では体験することの少ない田植え体験を満喫しました。また、田植機の試乗体験も行われ、多くの方が農作業に触れる機会となりました。

今回植えられた苗は、秋に実施される「100人手刈りイベント」で収穫される予定となっています。



▲晴天の中、田植え体験を満喫した

今年も只見四名山の山開きがスタート！

「要害山」山開き

5月12日、只見四名山の1つである「要害山(705m)」の山開きが行われ、今年も只見の山開きシーズンがスタートしました。

当日はJR只見駅前広場で開山式が行われ、菅家町長が歓迎の挨拶をした後、町内外から参加した約190人が登山を開始。雲一つない青空が広がる中、山頂を目指しました。参加者は道中の新緑や山頂からの景色、下山後の甘酒のふるまいなどを楽しみながら、今年最初となる山開きを満喫しました。



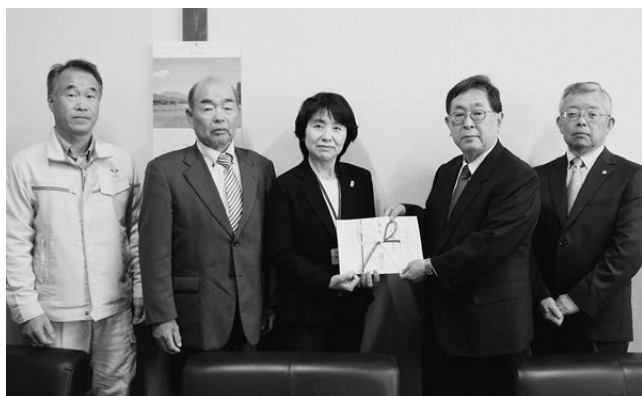
▲登山前の様子



▲山頂付近からの眺め

佐久間建設工業(株)が来庁

地域振興資金として50万円を寄付



▲佐久間源一郎社長（右から2番目）をはじめとする皆さんが来庁し、寄付をいただいた

5月15日、三島町に本社を置く佐久間建設工業(株)の皆さんが役場を訪れ、町の地域振興に役立ててほしいとして50万円を寄付されました。同社は今年で創立100周年を迎え、奥会津地域に貢献する建設会社を目指し、日々活動されています。当日は、渡部教育長が佐久間源一郎代表取締役社長から寄付金を受け取り、「本町の地域振興施策に活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

只見町で農村生活を体験

教育旅行の受け入れを開始

5月15日、学生たちが農村生活体験を行う教育旅行の受け入れが町内で開始されました。今年度は5月から9月まで、県外から10校約1800人の来町が予定されており、郡内4町村と連携して受け入れを行います。(※今年の2月には、郡内4町村が「南会津地方の教育旅行に関する協定」を締結)

当日は、仙台市立郡山中学校の2年生198人が訪れ、季の郷湯らで開村式を行った後、町内で農作業などの体験を行いました。



▲受け入れ農家の人たちと農業体験を行う生徒

広報ただみでも連載中

講演会「 commons と只見の共同利用資源-叶津を中心に」を開催

5月18日、広報ただみ「町史とっておきの話」で現在連載中の「commons と只見の共同利用資源」に関連したテーマによる講演会が開催されました。只見振興センターで開催された同会は、只見の自然に学ぶ会が主催し、約20人が参加しました。

当日は、連載の執筆者である山形大学農学部准教授の林雅秀さんが講師を務め、叶津での林野利用を中心にcommons（森林などの入会地のこと）の意義や今後の可能性などについて解説をされました。



▲講演に耳を傾ける参加者の皆さん

俳句を通じ首都圏の方々が来町

俳句会「航」の皆さんと交流

5月24日、首都圏を中心に活動する俳句会「航」（会員約200人）の皆さんが来町され、只見俳句会（会長：目黒レイ）の皆さんと交流されました。

同交流には総勢40人が参加し、1日目に季の郷湯ら里周辺でのブナ林で吟行、2日目に句会という1泊2日の行程で行われました。句会では、「航」から参加された方々より只見に関する句が詠まれる場面も見られ、俳句を通じてお互いに交流を深め合う機会となりました。



▲2日目に行われた句会では多くの句が発表された

歩いて健康づくり！

只見町民ハイキングで新緑を満喫

5月26日、今年で30回目を迎えた「只見町民ハイキング」が開催され、約70人が参加しました。参加者は2コース（2.8km、4.7km）に分かれて、今春リニューアルオープンした「奥会津ただみの森キャンプ場」をスタートし、新緑の景色を満喫しました。

ゴール後には、只見婦人会による豚汁・おにぎりのサービスやお楽しみ抽選会も行われ、家族連れを中心に多くの人が楽しんだイベントとなりました。



▲天候にも恵まれ、多くの人が参加した

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 森 冬人



「人生会議」知っていますか？

新緑が映える季節になりました。今年も5月から県内各地の研修医や医学生など若い人たちが只見町の医療を学びに来ていますので、よろしくお願ひいたします。

さて、「人生会議」って知っていますか？「人生会議とは命に関わるような重い病気になったときなどに、どのような医療・ケアを受けたいか事前に話し合っておくことです。」元々は「アドバンスド・ケア・プランニング」とちょっとわかりにくい言葉でした。去年「人生会議」という愛称が決まりました。

「まだまだ先の話だしな」「俺は延命治療しないでいいよ」など色々な考えの方がいるかもしれません。「人生会議」で大事な事を3つお伝えします。

- ①自分にとって大切な事は何か？
- ②自分をよく知り、もしものときに方針を決めてほしい人は誰か？
- ③家族や主治医(診療所)と普段から相談をする事

まず、自分の大切な事は何か考える事が重要です。「できるだけ家族と一緒にいたい」「住み慣れた家で過ごしたい」「孫の結婚式に行きたい」「趣味を続けたい」「酒を飲みたい」など何でも構いません。大切にしたい事を家族や医師に理解してもらう事が大事です。

また、重い病気の際は意識が無くなった状態になることも多いです。高齢者であれば認知症のために判断ができなくなる事もあります。もしものとき、あなた自身の考えや大事な事を一番よくわかって方針を考えてくれる人が誰なのか考えてみて下さい。息子・娘・親類でもいいですし、場合によっては親しい友人でもよいです。

「人生会議」は延命する・しないを決める会議ではありません。もしも意識を失ったとき、あなたの大切な事や考えがわかっているならば、難しい決断をする家族や友人の悩み・苦しみが減るでしょう。町内では突然重い病気やけがをした際、診療所で初期対応をすることがほとんどです。もしもの事が気になる際には、診療所の医師に遠慮なく相談してみてください。

地域おこし協力隊として Vol.55

只見町教育振興協力隊
阿部 利浩



「只見高校の魅力化と地域課題解決の架け橋に」

早いもので、こちらに来てから10か月になります。これまで只見高校の留学生募集を中心に活動し、今年度12名の留学生を迎えることができました。山村教育留学制度は、進んでいく町の少子化の流れの中で只見高校を存続させるために始まりました。全国の地方の市町村の高校も、同じ課題を持ち、全国から生徒を集めて高校を存続させる取り組みが進んで、生徒の取合いのようになってきています。留学生が安価な生活費で住むことのできる寮も、公営の塾があることもさして珍しいことではなくなりました。その中で、従来の偏差値一辺倒ではない本質的な学びを高校の中に

実現していくことで、高校を魅力的な場にしようという動きが拡散してきています。地域振興のイベントでの共働、地域の課題解決の活動に参加して、そこで学んだことをSNSなどで表現することで、地域のPRにもなり、担い手としても成長できる、そういった全国の例を参考にしながら、「総合的な探究の時間」を通して只見高校生が地域と関わり合い、体験の中から気付くこと、なぜだろう、こうしたら、という探究の中で地域課題解決の糸口を見出せるような学習の場を、只見高校と一緒に作っていきたいと考えています。

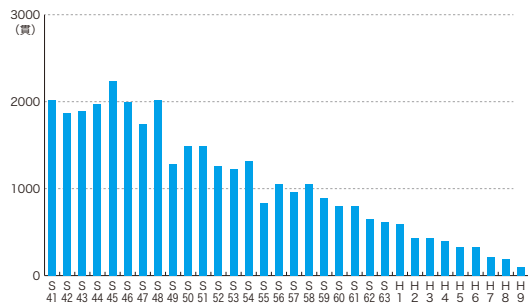


山形大学准教授 林 雅秀
はやし まさひで

コモンズと只見の共同利用資源②

― 山手帳にみるゼンマイ採取量の変化 ―

前号では叶津の昭和四一年以降の山手帳を資料として、昭和四一年時点のゼンマイ採取状況を紹介しました。この山手帳には、昭和四一年から四五年までの五年分の世帯ごとのゼンマイ採取量やそれに応じた山手金支払い額が記載されています。その後の昭和四六年から平成元年



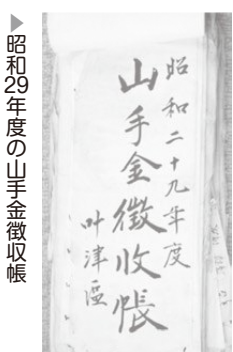
▲叶津のゼンマイ採取量の推移(昭和41年~平成9年)

までは別の「山菜山手帳」というタイトルの資料にゼンマイ採取量と山手金額が記載されています。さらにそれ以降は別の資料に平成九年までのゼンマイ採取量が記載されています。これらの資料をつなぎ合わせると昭和四一年から平成九年までの三十二年間については、ゼンマイ採取量の推移を確認できます。それを図にするとゼンマイ採取量もともと多かったのは昭和四五年の二、二三八貫で、それ以降は平成に入るまでほぼ一貫して減少を続けたことがわかります。

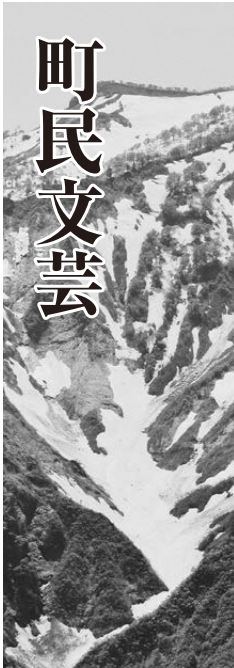
さて、昭和四五年の天然ゼンマイから、叶津ではどのくらいの収入を得ていたのでしょうか。これについては現時点で正確な収入額は不明です。過去のゼンマイ価格については筆者の手元には断片的な情報しかないためです。昭和四四年六月三日の朝日新聞夕刊によると、昭和四一年に貫当たり三、五〇〇円ですが、この時期に高騰して、翌四二年には四、五〇〇円、四三年には七、〇〇〇円まで上昇したとされています。ちなみにこの記事のサブタイトルは「ぜんまいがバカ値」で、あまりに急な価格高騰に仲買人も困っていることが紹介されています。もう一つの情報源として「広報ただみ」のバックナンバーを見ると、昭和四九年六月一〇日号では貫あたり二万円、翌五〇年七月一〇日号では二万五千円から三万

円であると紹介されています。これらの記事の主旨は、ゼンマイをはじめとする山菜が只見町全体でも米に次ぐ主要な収入源となっていることを紹介するものです。断片的な価格情報から推察すると、昭和四五年時点での価格は貫当たり一万円前後ではなかったかと思われ、叶津では二万円以上のゼンマイ収入があったと考えられます。

次は、価格が高かった昭和五〇年の収入はどうでしょうか。この年の総生産量は一、四九七貫ですから、価格が二万五千円だとすれば総売上高は三、七四二万円です。この年の最多採取者の採取量は七〇貫で、この人の売り上げは一七五万円です。昭和四〇年代から五〇年代は日本全体の物価上昇率も平均的な賃金上昇率も高いので注意が必要ですが、この年のサラリーマンの平均年収は二〇五万円(賃金構造基本統計調査)なので、これと比べて最多採取者の収入は〇・八五倍にも及ぶ金額だったこととなります。これは筆者の推察ですが、このようにゼンマイ採取期のみで得られる所得



▶昭和29年度の山手金徴収帳



町民文芸

只見短歌会

四月詠草

大塚栄一

指導

雪消えて畑に出られしを聞き取れしか笑みゐて逝きし百一才の叔母
馬場 八智

横断をせんと踏み出せば遮断機の如幼児の手で止めらるる
目黒 富子

遠く住む孫の祝ひの鯉のぼり留守居の庭の空に泳げり
渡部ゆき子

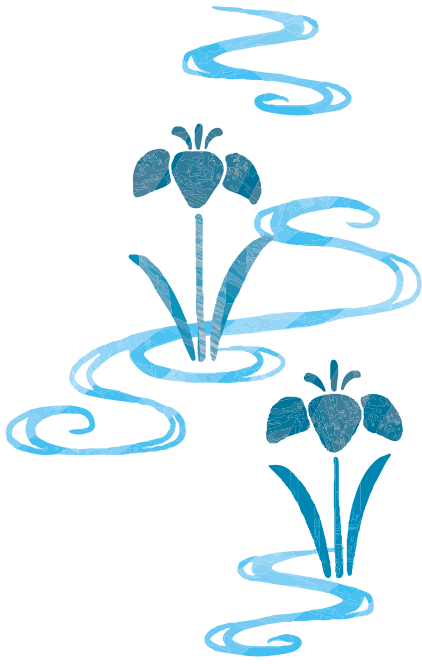
只見小元氣愛らし一年生先生曰く三名なのよと
関谷登美子

サバンの画像流せば飼ひ猫は時をり溜め息付きつつ見入る
新国由紀子

満開の桜のニュース多けれど我が住む町はまだ蕾なり
渡部ヨリ子

肌寒き雨降り止まず丁寧に仕舞ひしベストも取り出す
新国 洋子

(出詠順)



只見俳句会

五月定例会

目黒十一

指導

はきはきと民泊少年夏来たる
恒夫
緑蔭や隠し田らしき田形跡

見得を切る舞台さながら桜散る
礼
桜散る地につくまでのいのちとも

鳥の声返す草苗畝の上
一穂
キッチン 鋏刃先の光春菜摘む

生存の巖しき故の茂りあり
修一
ブナ若菜見上げる顔や夕陽さす

春うらら曾孫二才のボール蹴り
吉見
早蕨や足りたる母の寝息かな

羚羊の戸惑いの目や春の庭
幸生
廃道の夏を見守る空祠

羚羊の戸惑いの目や春の庭
幸生
廃道の夏を見守る空祠

春連れて故郷の山只見線
信
桜咲き制服の胸高らかに

白髪をすっかりおさめ春帽子
都
春セーター着たり脱いだり外来日

梅の香や杖と佇む二人連
味代子
羅漢仏内緒話しに百千鳥

それぞれの芽吹きの色や山太る
弘子
春耕に追われる日々よ古い二人

今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

- 6月25日までに納めましょう
- 町民税(1期)
 - 水道使用料(1期)
 - 農集排使用料(6月分)

試験

只見町任期付職員採用候補者試験受付中

令和元年度只見町任期付職員の採用候補者試験の受け付けを行っています。

一、試験職種及び採用予定人員

○看護師 若干名

二、給与及び勤務時間等

任期付職員は、任期が定められていること以外、給与、勤務時間等については任期の定めのない職員と同様に地方公務員法の規定が適用され、採用後は一般職の職員として勤務いただくこととなります。

三、受験資格(学歴不問)

○資格免許職・看護師
昭和34年4月2日以降に生まれた者で、看護師の免許を有する者

四、試験の方法

高校卒程度で次により行います。

【試験】
教養試験、小論文試験、

面接試験

▽日時

6月30日(日)

午前8時50分受付～午後5時

▽場所

只見町役場内(只見町大字只見字町下二五九一番地の三〇)

五、発表

役場掲示板に合格者番号を掲示するほか、本人に通知します。

六、採用

合格者は任期付職員任用候補者名簿に登録され成績順に町長が採用者を決定します。

採用は令和元年8月1日以降となります。任期は5年を超えない範囲で任期を延長する場合もあります。(名簿の有効期間は登録の日から令和2年3月末まで)

七、受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

申込用紙は役場総務課及び朝日、明和振興センターで交付します。(郵送による場合は百二十円切手を貼った返信封筒角二号を添付すること)

▽申込方法

申込書を期日までに総務課に提出してください。

▽受付期間

令和元年5月23日から6月21日まで(郵送は6月17日までの消印のあるものに限る)

●問合せ先

▽只見町役場総務課総務係
☎024118215210

只見町採用候補者試験を行います

令和2年度只見町職員(高校卒程度・一般事務職)(資格免許職・看護師)採用候補者試験を行います。

一、試験職種及び採用予定人員

【高校卒程度】

○一般事務職 若干名

○資格免許職 若干名

○看護師 若干名

二、受験資格(学歴不問)

【高校卒程度】

○一般事務職

平成24年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた者

【資格免許職】

○看護師

昭和44年4月2日以降に生まれた者で、看護師(又は看護婦)の免許を有する者、又は令和2年3月末までに取得見込みの者

三、試験の方法

【第一次試験】

○一般事務職・看護師
教養試験(高校卒程度)及び事務適性検査・性格特性検査・職場適応性検査

【第二次試験】

(一次試験合格者)

小論文・面接による試験

四、第一次試験の日時、会場

▽日時

9月22日(日)

午前9時受付～午後2時30分

▽場所

県立田島高等学校(南会津町田島字田部原260)

五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

六、採用

合格者は採用候補者名簿に登録され成績順に町長が採用者を決定します。(名簿の有効期間は一年間)

七、受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

申込用紙は総務課及び朝日・明和振興センターで交付します。(郵送による場合は百二十円切手を貼った返信封筒角二号を添付すること)

▽申込方法

申込用紙を総務課に持参又は郵送により提出ください。(いずれの場合も八十二円切手を貼った返信封筒角三号を添付すること)

▽受付期間

令和元年6月21日から8月16日まで(郵送による場合は、8月14日までの消印のあるものに限る)

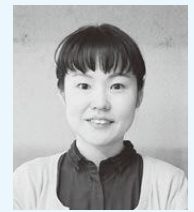
●問合せ先

▽只見町役場総務課総務係

☎024118215210

新たな地域おこし 協力隊員の紹介

わたなべ まりこ
渡部 真梨子さん



出身地／東京都西東京市
趣味／猫の動画を見ること

5月より、新たに1名の地域おこし協力隊が「奥会津・只見教育振興協力隊」として加わりました。主な業務は公営塾運営・講師を担当し、町教育委員会の勤務となります。

●町内で活動する協力隊

観光分野：1名

教育分野：3名 計4名

メッセージ

初めまして、このたび協力隊として心志塾で数学を担当することになった渡部真梨子と申します。昨年度まで東京都で中学校の教員をしていました。これまでの経験を活かしながら只見町の教育に携わっていきたいです。来塾する生徒が高校生なので、今まで通りにはいかない部分もあるかと思いますが、生徒たちに寄り添いながら指導に当たりたいと思います。よろしくお願い致します。

～只見町町制施行60周年記念～

市立柏高校吹奏楽部による記念コンサート開催のお知らせ

只見町町制施行60周年記念事業として、ふるさと交流都市である柏市より市立柏高等学校吹奏楽部の皆様をお招きし、演奏会を開催いたします。

柏高校吹奏楽部は、6年連続全国1位の実績を持ち、海外でのコンサートやテレビ出演も行う全国屈指の強豪校です。

ぜひご来場ください。

- 7月20日(土) 14:30開場 15:00開演
- 只見中学校体育館【入場無料】【事前申込不要】
- お問合せ：只見町教育委員会
(0241-82-5320)



町長スケジュール (5月分)

- 8日 只見町赤十字奉仕団新旧役員来庁、福島県知事との意見交換会、定例庁議
- 9日 南会津地方町村会総会、会津高原ふるさと推進協議会理事会、南会津地方土地開発公社理事会、南会津地方林業協会通常総会、南会津地方緑化推進委員会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津地方町村連絡会議懇談会(南会津町)
- 10日 柏市とのふるさと交流企画会議、高齢者叙勲(旭日単光章)伝達式(大倉)
- 12日 要害山山開き
- 14日 福島県水道協会定期総会(福島市)、(株)季の郷湯ら里取締役会
- 15日 福島県議会企画環境委員会来庁、会津総合開発協議会要望活動(新潟市)、
- 16日 自衛官募集相談員委嘱状交付式
- 17日 郡山自衛隊第六特科連隊第三大隊長来庁、南会津地区山岳遭難対策協議会監査、只見町青少年健全育成町民会議総会
- 18日 朝日小学校運動会、明和小学校運動会、南会津地方広域市町村圏組合新消防庁舎上棟式(南会津町)

- 19日 星賢孝氏「奥会津・只見線 四季彩々」写真集出版記念講演会・祝賀会
- 20日 只見ユネスコエコパーク連絡調整会議、滝調整池堆砂対策連絡協議会(金山町)、朝日地区町政座談会
- 21日 只見川電源流域振興協議会監査、福島県立高校改革監他来庁、県立只見高校改革懇談会
- 22日 ダム・発電関係市町村全国協議会理事会・定例総会、ダム・発電関係市町村等振興議員連盟との合同勉強会(東京都)
- 23日 (株)会津ただみ振興公社株主総会、只見町シルバー人材センター設立総会、朝日診療所医師との懇談会、只見地区町政座談会
- 24日 (株)季の郷湯ら里株主総会、南会津建設事務所長来庁、明和地区町政座談会
- 25日 只見小学校運動会、J A会津よつば総代会(会津若松市)
- 28日 観光開発審議会答申、6月補正予算町長査定、J R只見線利用促進実行委員会、民生児童委員との懇談会
- 29日 会津総合開発協議会本省庁要望活動(東京都)
- 30日 只見町商工会要望、奥会津五町村活性化協議会定例総会、只見川電源流域振興協議会定例総会(昭和村)
- 31日 一級河川只見川河川整備促進期成同盟会総会、固定資産評価審査委員辞令交付式、多文化共生推進協議会、只見高等学校振興対策会議役員会

町民の消息

(4月26日～5月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

鈴木唯希 (男/靖和・佐知) 只見
印南陽色 (女/春樹・美由紀) 二軒在家

■おくやみ申し上げます

五十嵐 多喜子	85歳	福井
横田 ハツエ	93歳	蒲生
横田 サク子	91歳	黒谷
菅家 和江	57歳	黒谷
菊地 平子	80歳	長浜



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和元年5月1日現在

人口	4,182 (+21)
男	2,048 (+9)
女	2,134 (+12)
世帯数	1,863 (+23)
高齢化率	46.28%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 39 転出 11 出生 3 死亡 10

▽5月中旬～下旬には各校運動会の取材にお邪魔させていただきました。児童と保護者、先生たちが団結し頑張る姿を見て、まるで自分も運動会に参加しているような気分になり、とても楽しい取材でした。

▽個人的に、小学校の運動会は春開催が当たり前というイメージでしたが、全国でみると秋開催の学校も半数近くあるそうです。春に開催する理由は、秋より涼しいからと言われます。暑さだと、気温は関係ないような気がします。

▽運動会に参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。(橋本)

あとがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習サポーター
目黒美沙希

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★おばけのケーキ屋さん

SAKAE / 絵・文 (マイクロマガジン社)



ふつうのおばけはおどろかすのがすきだけど、ちょっと変わったケーキをつくるのが大好きなおばけがいました。

ある日ふきげんな女の子があらわれ、うでじまんのおばけはケーキをふるまいます。

でも、女の子は「パパの作るケーキと同じくらいかな」といいます。ほくと君のパパがつくるケーキが同じだって!?とおどろいたおばけは負けられない!とライバル心をもやしますが...

ほろりとくる切ない絵本です。ぜひ親子で読んでみて下さい。

★風が強く吹いている

三浦しをん / 著 (新潮社)



新入生の蔵原走が加わり大学寮、竹青荘の寮生が10人になった時に清瀬二は全員にこう告げます。「俺たちで箱根を目指そう」と。

急な提案で寄せ集めのチームが箱根駅伝を目指すという無謀ともいえる挑戦から物語は始まります。

メンバーも半分あきらめており、そもそも運動ができない、ジャージすら持っていない者がいたり見通しすら立たないスタートです。ですがバラバラな個性のメンバーが全員で走ることに向かっているうちにその考えはどんどん変わっていきます。終盤へ向かっていくうちに読者も早足で次のページへ行きたくなる青春小説です。

☆その他にも図書コーナーにはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。

ヤマグワ (学名: *Morus australis*)

【クワ科クワ属】



▲ 果実は赤から濃紫こむらさきに熟す



▲ 1 個体の中にも複数の形状の葉が見られる

クワの果実は6月～7月にかけて濃紫色に熟します。果実には甘味があり、只見では「くわご」や「どどみ」と呼ばれ昔から食べられてきました。学校帰りに枝からちぎって食べ、舌を紫色に汚して親に叱られた経験をお持ちの方もいるかもしれません。

ヤマグワは北海道から九州の丘陵地や低い山地に分布する落葉亜高木で、主に林縁や林道などの明るい環境に生育します。葉は互生につき、長さが6～14cmの卵形で縁に鋸歯を持ち、表面はザラザラしています。葉の形状は様々で、切れ込みのないものから5裂に分かれるものまであります。また、果実は人だけでなく、ツキノワグマなどの哺乳類や鳥類にも利用されています。冬の積雪期には、冬芽や樹皮がニホンザルの主要な餌としても利用されています。養蚕が盛んなころには、カノ（焼畑）の跡地を桑畑として利用し、カイコ（蚕）の餌としてその葉を供給していた事例もあります。昭和の中頃まで、養蚕は只見まゆの主要産業でした。民具として多く残るクワカゴ、クワザルや繭をつくらせるマブシ（蔴）などにその様子を見ることができます。

ヤマグワは動物や人間と深い関係性のある（あった）樹木です。濃紫色に熟した果実を食べる時に、利用する動物や養蚕などの産業的な背景を考えるとより一層、くわごを味わえると思います。

講演会

「河野昭一先生企画展」開催記念講演会「只見のブナ林は世界の宝」

日 時：6月30日(日) 13:00～15:00 ※入場無料

会 場：季の郷湯ら里コンベンションホール「ゆきつばき」

講 演：植物学者・河野昭一先生がブナ林に残した足跡

講 師：北村系子氏（森林総合研究所）

※講演後、座談会を開催します

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

自然観察会

ブナ二次林のこれからを考えるー深沢集落 余名沢ブナ林

日 時：6月30日(日) 9:00～11:00

集 合：季の郷湯ら里 駐車場 (9:00)

持ち物：飲み物、雨具、歩きやすい靴

参加費：高校生以上500円、小中学生400円

お申込み・お問い合わせはブナセンターまで ☎0241-72-8355